## 住宅建築に関する地主の承諾書(転借地用)

| Г | 記入日   |   | 西曆 | 年 | 月 | H |
|---|-------|---|----|---|---|---|
| ı | ロレノトロ | • |    | + | 刀 | Н |

(金融機関名)

株式会社優良住宅ローン 御中

| 土地所有者(共有者) |        |   |   |    |  |  |
|------------|--------|---|---|----|--|--|
| 氏名         | (生年月日: | 年 | 月 | 目) |  |  |
| 住所         |        |   |   |    |  |  |
| 電話番号       |        |   |   |    |  |  |

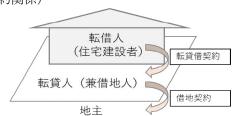
1 私は、

| 伙表 | の土地に転借 | 人 | (共有石) |          |       |    |  |  |
|----|--------|---|-------|----------|-------|----|--|--|
|    | 木造     | 7 |       | <u> </u> |       |    |  |  |
|    | 進耐ル構造  | L | の住宅を建 | 筑オスト     | レお承世し | ナナ |  |  |

| 土地の表示 | 所在地 |                       |         |
|-------|-----|-----------------------|---------|
| (登記上) | 地積  | 平方メートル                |         |
|       |     | (土地の一部を賃貸している場合、上記のうち | 平方メートル) |

- 2 私は、次の事項を承諾します。
  - (1) 転借人が利用する宅地について抵当権設定を行わないこと。
  - (2)地主としての地位を第三者に移転する場合は、必ず住宅金融支援機構(https://www.jhf.go.jp) に連絡すること。
  - 転貸人の借地人としての地位が消滅し、又は第三者に移転した場合であっても、転借人が宅地上 (3)の建物を引き続き所有できるよう、転借人が宅地を利用する権利を確保すること。





(注)建築した建物には、住宅金融支援機構を第1順位とする抵当権を設定します。

令和5年4月

が